

# 令和3年度 サケの観察日記

No.4

(令和4年) 3月13日

旭山動物園さんのサケの水槽の前を通った人は、皆足をとめてじっくり観察していました。大きな水槽で環境もよいのか、私達の育てているサケよりたくましく見えます。4月に一緒に放流するので、川の中のエサの取り合いでは動物園さんのサケに負けてしまいそうです。



子どもの水辺で飼育中のサケ

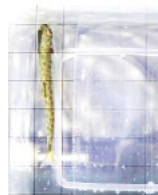
3月23日

サケの長さを測ってみました。3月4日には4.3cmでしたが、エサをたくさん食べるようになったため、多めにエサをあげてしまい、わずか2週間で5cmになっていました。

放流までまだ2週間あるので、大きくなりすぎないように、今日からエサを減らします。



3/4 4.3cm



3/23 5cm

上からの敵に見つからないよう、サケの背中中は黒っぽくなっています。



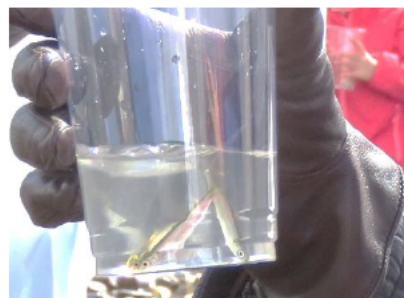
下からの敵には太陽の光に反射するようお腹が銀色になっています。

3月28日

教育大学附属旭川幼稚園さんが育ててくださったサケの稚魚を川へはなしました。

幼稚園の先生方や、成長を見まもってくれた園児と保護者の皆さん、約80名の方々が、気温が5℃という寒さの中、サケの旅立ちを笑顔で「いってらっしゃい」と見送ってくれました。

厳しい旅なので何尾が旭川に戻ってこられるかは分かりませんが、3年から4年後の秋、立派な大人になって戻ってきたサケを、「よくがんばったね」と出迎えてあげたいですね。



コップに入る小さなサケが、10倍以上大きくなって旭川に戻ってきます